学校番号	1006

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ（実習）	単位数	2(1)単位	年次	１年次
使用教科書	情報ⅠFlex　実教出版						
副教材等	教員作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主にコンピュータを利用した実習の授業です。
これからの情報社会で生きていく上で必要となる情報機器の扱い方について学びます。
問題解決のために、メディアの活用、インターネットやコンピュータの適切な利用について学びます。

2　学習の到達目標

・情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する。
・情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。
・情報を主体的に判断し、適切に発信する能力を身につける。
・情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報及び情報技術を活用するための基本的な知識を理解する。 ・社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解できる。 ・情報及び情報技術を活用するための基本的な技能を身につけ、目標に応じて情報及び情報技術を適切に扱うことができる。	・情報や情報社会における身の周りの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方をすることができる。 ・情報モラルを踏まえて思考を深め、適切に判断し表現することができる。	・情報や情報社会に強く関心を持とうと努力している。 ・自ら進んで情報及び情報技術を活用しようとしている。 ・社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第1章:情報社会と問題解決	○情報社会 ○情報モラル ○知的財産権	a:情報社会や情報について理解している。 情報モラルについて理解している。 知的財産権について理解している。 b:情報化が個人に及ぼす影響と対策について具体的に考えることができる。 情報モラルと知的財産権に配慮した情報の収集、発信ができる。 c:情報社会に関心を持ち、情報社会の創造に参画しようとしている。	定期考査	定期考査 課題提出	プリント提出 課題提出 授業態度
二学期	第2章　コミュニケーションと情報デザイン 第6章　データベースとデータの活用	○データベース ○データの活用 ○情報デザインの工夫	a: 問題解決のために、適切な情報機器を選択し、利用する方法を理解している。 問題解決のための情報の収集・分析に、情報機器を適切に活用することができる。 b:情報の信憑性を判断したり、情報を共有するために適切な方法を考えることができる。 情報を正確にわかりやすく伝えるためのデザインの工夫ができる。 c:課題に積極的に取り組む。自分の作品をよりよく改善するために試行錯誤している。	定期考査	定期考査 課題提出	プリント提出 課題提出 授業態度

三学期	第4章 プログラミングとモデル化	○アルゴリズム ○プログラム ○モデル化 ○シミュレーションによる問題解決	a: 基本的なフローチャートからプログラムが作成できる。 フローチャートの表現やアルゴリズムの構造を理解している。 データを収集しコンピュータを利用したデータベースでそのデータを扱うことができる。 モデル化・シミュレーション・データベースの概念や役割を理解している。 b: 試行錯誤しながらフローチャートが作成できる。またその真偽を確かめることができる。 縮小モデルや数理モデルで実物や現象をモデル化して表現できる。 c: アルゴリズムやフローチャート・プログラミングに興味をもち学習に積極的に取り組もうとしている。 具体的な現象についてのモデル化やシミュレーションに興味を持って学習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 課題提出	プリント提出 課題提出 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度